

# 前週例会 (11月19日) レポート

ニコニコBOX 創立第2208回例会 12件 計 23,000円 累計 616,000円

- 是安さん入会お目出とうございます。市原君、東 君
- IMよろしく御願います。(小豆島RC) 葛西君
- 坂井さん遠征ゴルフでお世話になりました。森 君
- 川畑委員長防災センターでお世話になりました。市原君
- 次週卓話で吉田先生にお世話になります。松村君
- 藤井先生に客話いただきました。竹中君
- 防災センターでの例会でお世話になりました。川畑君
- お久しぶり。松村君
- 早退お詫び。篠原君、赤田君、古市君

## 会長報告

- 10/21(用)に高松市立第一小学校にてキッズ料理教室を行った件に関しまして、本日つい先ほど、その御礼に同校の川上校長先生がいらっしゃいました。先生は所用で先にお帰りになりましたが、皆さんによりしくお伝えくださいとのことでした。
- 先週の例会は香川県防災センターでの移動例会でした。小雨がぱらつく肌寒い天気と場所が少しわかりにくかったので、最初はどうなることかと思っておりましたが、総勢24名の参加者で、震度7の地震体験や風速30mの暴風体験、消火体験をしていただきました。災害に対する認識を新たにさせていただいたのではないかと思います。担当委員会の川畑委員長にはいろいろとお世話になりました。ありがとうございます。
- 11/16(土)にゴルフ同好会の月例コンペが、坂出CCで開催されました。今回は自慢ではありませんが、私が優勝させていただきました。ありがとうございます。
- 本日、クラブ理事会が開催されました。その中で、2670地区よりの提案である、先日の台風30号によるフィリピンでの大災害に対して、会員一人当たり¥1,000の寄付を行うことが審議され承認いただきましたことをご報告申し上げます。

## 幹事報告

○例会臨時変更のお知らせ

月 日	曜	クラブ名	例会場	→	月 日	曜	場 所	時間
12/10	火	当 ク ラ ブ	リーガホテルゼスト高松	→	12/10	火	スマートフォン遠隔サポート高松センター	12:30
12/11	水	高 松 南 R C	JRホテルクレメント高松	→	12/11	水	時間変更	18:30
12/17	火	当 ク ラ ブ	リーガホテルゼスト高松	→	12/17	火	ボワ・エ・デュボン	18:30
12/18	水	普 通 寺 R C	普通寺商工会議所	→	12/15	日	松坂 国道店	18:00
12/19	木	高 松 R C	リーガホテルゼスト高松	→	12/19	木	高松三越 ランドマーク	18:30
12/19	木	丸 亀 R C	丸亀プラザホテル	→	12/19	木	セント・カテリーナ	18:30
12/26	木	高 松 R C	リーガホテルゼスト高松	→	12/26	木	定款第6条により休会	
12/26	木	丸 亀 R C	丸亀プラザホテル	→	12/26	木	定款第6条により休会	

## IMのご案内(小豆島RC葛西会長、佐藤幹事)

- 来年2/9、IMを10年ぶりに小豆島にて開催致します。場所はライラの行われる与島を眼下に望む丘の上にあります、天空ホテル海廬です。今回のテーマは“未来を託す子供たちに一少年育成”です。第1部の基調講演はチベットの声楽家のバイマーヤンジンさんをお願いしております。第2部は同テーマでフォーラムを開催します。2月の寒いときではありますが、大勢の方のご参加をお待ちしております。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

## 客話

- 「インフルエンザウイルス」 香川大学医学部 教授 藤井 豊先生  
インフルエンザウイルスとは流行性感冒(流感、インフルエンザ)の原因ウイルスです。流行性感冒(以下インフルエンザ)は普通感冒(風邪)とは重症度が異なります。また普通感冒の原因ウイルスは200種類以上あるのに対し、インフルエンザウイルスは大きく分けると3種類しか存在しません。またその感染力が極めて強いのが特徴です。そもそもウイルスとは遺伝子の塊であり、細菌と違い、自己増殖できません。細胞に感染して、その細胞の機能を利用して、自分の子孫である遺伝子の塊を作らせることで増殖します。生きた細胞がなければ、増殖することはできないわけです。インフルエンザは人獣共通感染症です。自然宿主は水鳥、主にカモとかアヒルです。新型インフルエンザウイルスがどのように出現するかというと、本来ブタとか水鳥にしか感染力を持たなかったウイルスが遺伝子交雑により、たまたまヒトへの感染力を持つことにより現われると考えられています。ちなみに2009年の新型インフルエンザはブタ由来でした。インフルエンザの予防にはインフルエンザワクチンがあります。1994年までは定期接種が行われていましたが、副作用があるため現在は中止されています。ウイルスに抗原変異があるので、毎年接種の必要があります。感染防御よりも、重症化阻止が主目的となっています。治療には抗インフルエンザウイルス薬が用いられます。いわゆる特効薬と呼ばれています。使用により耐性ウイルスが出現しますが、その出現率は1%程度で、かつその耐性ウイルスは感染力が低いので問題はないと思われます。その他、作用機序が異なる新薬も日本で開発されつつあります。新型のインフルエンザが出てくる可能性は十分にありますが、今、日本では十分に対応ができる状況となっています。気を付けないといけないですが、必要以上に恐れる必要もありません。正しく理解して、正しく対応いただければよろしいかと思います。